

第2学年 特別活動（学級活動）指導案

日 時 平成 16年 10月 1日（金） 5校時
生徒 2年C組 男子16名 女子15名 計31名
指導者 千厩町立千厩中学校
教諭 千葉 勝

1、題材名 「班活動を見直し、生活向上を図ろう」

2、題材について

（1）生徒の実態

男女とも個々には素直で従順である。体育祭では学年団体種目を制して、「団結力の勝利である」と満足気に歓喜する姿を見せてくれた。

言動が活発で無邪気な一部のムードメーカーに左右されることはあっても、どちらかという、控え目な態度や性格の生徒が多いせいか、消極的な雰囲気が出される傾向がある。

物事への取り組みも受動的で「誰かがやるだろう」「誰かが言うだろう」「できればやりたくない」「めんどくさい」といった人任せの安易な気持ちが先行し、自己の利害に関わる事以外にはあまり関心を示さないため、係や責任ある役割を引き受けたがらず、話し合い活動において、時間がかかる傾向にある。

また、集団生活の基本としての生活規律等に関する意識がそれほど育っていないため、全体として節度を欠いたり、いい意味での緊張感をなくしてしまっている現状も認められる。

（2）題材設定の理由

生徒の実態や学級の現状から分析すると、学級経営で目的としている自律的で自治的な集団を形成するためには、多くの課題を残しているととらえることができる。

班活動においても、プリント配布や始業の号令など、毎日の決まった仕事は機械的にこなせるが、自覚が不足しており、責任感や使命感を伴うような活動を遂行しようとする意欲や協力性も不十分の観がある。

以上のことから、班活動の実態を見直し、学級の抱える課題解決を目指して改善を図ることや、仲間と協力しながら、生活向上に意欲的に取り組む学級集団づくりの必要性を痛感し、本題材による学級活動を構想した。

話し合い活動と、その結果としての自己決定した内容の実践化は、学級集団の質的向上を目指すものであり、受動的で消極的なムードから自律的で自治的な学級へ向かわせたいと考える。

希薄な生徒間のコミュニケーションを補うためにも、話し合い活動による意見交

換や他の生徒の考えを知ることによって、相互理解を深めさせたい。

(3) 指導にあたって

話し合いのルールに従って整然と討議する訓練が不十分なため、班会議の討議の深まりには温度差が生じることが予想される。

そこで、進行役である班長のリーダーシップのとり方や、班員一人一人に必ず発言を求めることを指導しながら、具体的に考える視点を与え、焦点を絞って話し合わせたい。

さらに、生徒指導の機能を生かしながら個性を尊重し、出された意見を比較したり、部分的にも視点や考え方のいいところを取り上げて、練り上げることができれば良いと考えている。この練り上げの段階で考えを深め、実践への意欲化を図りたい。

3、本題材のねらいと評価規準

(1) ねらい

生活改善や課題解決を目指した話し合いを通して、役割を自覚し、協力して班活動や学級の活動に自発的に取り組む意欲をもたせるということに主眼をおいている。

話し合い活動は、他の生徒の意見や考えをよく聞いて正しく判断する力を養うことに直結し、集団自治の形成という目的からすれば欠かせない活動のひとつであると判断される。

また、真剣に話し合いに参加し自発的に発言することが、自分の言葉に責任をもって実践しようとする態度を促し、生活向上や問題解決に向けて、前向きに考え・行動しようとする意識を高めることに有効に作用するものと考えられる。

さらには、今後の改善策や取り組みを決議し、自己決定した内容を実践に移していく過程で、学級活動の計画・実践・評価の流れを学習し、生活向上や問題解決のための方法を理解・習得させるということをおねらいとしている。

(2) 評価規準

役割を自覚し、協力して係活動や生活向上に意欲的に取り組もうとしている。

(関心・意欲・態度)

他の生徒の意見・考えをよく聞いて正しく判断し、生活向上や問題解決について前向きに考えている。

(思考・判断)

話し合いや係の活動などで自発的に発言し、責任をもって実践することができる。

(技能・表現)

学級活動の計画・実践・評価の流れを知り、協力して学校生活の充実と向上を図る方法を正しく理解している。

(知識・理解)

4、事前の活動と計画

9月30日 帰りの会 班活動を振り返るアンケートの実施

9月30日 放課後 班長会・議長：話し合い活動の打ち合わせ
(班活動の反省と分析～課題の焦点化)

10月 1日 朝 班朝会・議長：話し合い活動の準備・打ち合わせ

5、本時の活動

(1) ねらい

班活動の反省から改善策を話し合う活動を通して、具体的に自分たちが実践できる取り組みを考え工夫することによって、問題解決と生活向上を目指し、仲間と協力して自発的に取り組もうとする意欲をもたせる。

(2) 評価規準

学級の課題解決を目指して、前向きに話し合いに参加しようとしている。

(関心・意欲・態度)

他の生徒の意見・考えをよく聴いて正しく判断し、生活向上や問題解決について前向きに考えたり、発言できる。

(思考・判断)

(3) 展開

段階	活動の内容	指導上の留意点(・)・評価の観点()
活動の開始 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話 1、班長会から課題を示す (題材の意識化・共通化) ・教師の問いかけ (現状分析・課題認識) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の見通しをもたせるため、ねらいと構想を説明する。 (事前アンケートの集約から問題点のある程度絞って焦点化しておく。) ・班長会の説明を補足し、話し合いのねらいを理解させるとともに、現状に対する問題意識を喚起する。 ・学級の現状を認識し課題を共有して、真剣に考えさせるために「このままでいいのか?」と発問による揺さぶりをかけ、賛同意見を出させた上で課題を掲示する。
<p>班活動を見直して、生活向上を図ろう</p>		
活動の展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> 2、学級生活上の課題解決に向けての、具体的な方策と取り組みを班毎に話し合う。【班活動】 (課題解決への討論) 3、班毎に話し合った解決策や取り組みを発表しあう。 【一斉】 4、各班の発表内容について意見交換をする。 【一斉】 	<ul style="list-style-type: none"> ・班毎に、どの課題を取り上げるかについて、話し合っ決めてさせる。 ・課題解決のために、原因が克服できる取り組みをできるだけ具体的に考えさせる。(いつ・だれが・どのように・・・) ・取り組みの成果や達成度が明確に評価できるように考え方の視点を示唆する。 (話し合いシートに自分の考えを書き入れさせる) 他の意見をよく聴いて、前向きに話し合いに参加しているか。(関心・意欲・態度)【観察法・ワークシートの記述】 ・机間巡視による各班への指導を行う。5班(T・K/N・Kら)に集中して話し合うように、1班の班長、2班等に話し合いの進め方について支援を加える。 ・話し合いの結果をもとに、解決方法や取り組みについて班長に発表させる。 ・他の班の発表内容を自分の班と比較しながら考えるように聴き方の視点を与える。 ・協力して係活動や生活向上に取り組もうとする意欲をもたせるために、建設的な方策や着想については、周囲の共感を誘って認める。 ・学級生活の充実のため、よりよい方策を練り上げさせる。他の意見をよく聴き、生活向上や課題解決について前向きに考えたり、発言しているか。(思考・判断)【観察法】

段階	活動の内容	指導上の留意点(・)・評価の観点()
活動のまとめ(5)分	5、今後の活動方針を確認する。(実践化) 6、話し合いの感想・評価をシートに記入する。(自己・相互評価)	協力して課題解決や生活向上に取り組もうとする意欲を示しているか。(関心・意欲・態度) 【観察法】 ・話し合った内容を、具現化しどのような活動を行うのかを班長会で検討し、後日提案することを確認する。 ・話し合い活動への参加態度(発言・聞き方)等を評価する。(自己評価) ・だれの(どの班)のどんな意見や発言がよかったか。(相互評価) ・今後の学級や班の取り組みに対して、「自分はどんな形で協力しようと考えたか？」を主眼において感想をまとめさせる。

(4) 板書計画

「よりよい方策をつくりあげには？」 今後の取り組みをみんなで作えよう！	各班の改善策	「改善策を話し合おう。」 アンケートの集約結果 <紙板書> ・学級の課題 ・原因の追究	班活動を見直して、 生活向上を図ろう
	各班の改善策		

6、事後の指導と評価

(1) 事後の指導(反省・再検討・実践化)

10月 6日 学級活動 練り上げた改善策をもとに取り組み原案作成(班長会)

10月 8日 原案提示・学級審議：取り組み開始

10月12日 帰りの短学活 相互評価用紙を活用した活動の評価

以後、週毎に短学活を利用し、段階的に評価・反省を行って実践化を図る。

10月26日 学級活動 自己決定した内容の総括

成果を確認した後 班替えを行い、次の集団レベルへの移行を企図する。

生活意識アンケート調査集約

1、これまでの班活動についての反省

(1) (A = よくできた B = できた C = 努力すべき)

観 点	評 価		反省点と 考えられる 原因 は？	
		個人		班
計画、目標 どおりに活 動できたか	A	1 0	1 2	できた・しっかりやっている(6)、掃除におくれた。着席しないのに「いただきます」。仕事を忘れていた(13。) (原因):意識が足りない・やろうとしない(2。) 当番を決めなかった。誰かがやると思っていた。(2) 早く遊びたいから。計画・目標がわかっていなかった(2)
	B	1 5	1 1	
	C	4	3	
	D	0	0	
責任感を もってつと められたか	A	7	1 1	きちんとできた(4)、できなかった・さぼった(3)、仕事を忘れた(7)、自分の仕事を他人にやらせた。掃除や給食当番やらない人がいる。 (原因)忘れてしまう(3)、誰かがやると思っていた(2) 責任がないから(2)、意識・自覚がない(4)
	B	1 5	1 0	
	C	8	5	
	D	0	0	
他の班員 や級友と協 力できたか	A	1 1	1 4	協力できた(5)、呼びかけあった(4)、協力できなかった(5)、まずまず。声かけをあまりしなかった。 (1)、清掃や給食当番をやらない人がいる。 原因:何をやっていいかわからない。協力を必要とする仕事じゃない(2)
	B	1 5	9	
	C	4	3	
	D	0	0	
学級みんな のために 役立てたか	A	9	1 2	しっかりできた、バッチリ(7)、係りの仕事くらいしか役立てなかった(3)、黒板がきれいになってよかった。 給食のあいさつは役立てた。わからない(2)、たぶんできている。一部の人ができていない。 原因:仕事を忘れていた(4)
	B	1 6	1 0	
	C	5	4	
	D	0	0	

2、基本的生活習慣は？

(1)(A = よくできた B = できた C = 努力すべき)

観 点	評 価		反省点と 考えられる 原因 は？	
		個人		班
時間は守られているか。 ・チャイム着席 ・給食時間 ・清掃時間 ・短学活 終始のあいさつ 他	A	1 5	1 2	比較的守られている(3)、あいさつができていない(2)、チャイム着席が守られない(7)、清掃時間が守られない(2)、給食時間終了前に片付け始める人がいる。短学活で周りがうるさくて、早く進行できなかった。守れている・遅れていない(5)、清掃サボった人がいた(2)。 原因：給食後早く遊びたい。チャイム廊下でおしゃべり他組で読書。めんどくさい(2)、守る意識がない・足りない(2)、指示や話を聴いていないから。授業に遅れることに慣れてしまっチャイムが気にならなくなってしまった。チャイム廊下で遊んでいるから。自分が悪いから。
	B	1 1	1 1	
	C	4	7	
	D	0	0	
学習用具の準備 / 提出物 ・忘れ物 ・生活記録 ・学習ノート ・物の管理	A	2	2	提出物を出さない(12)、教科の忘れ物(10)、記録していない・家庭学習をやっていない(2)、けっこう周りにゴミが散らかっている。だいたいできている。 原因：意識や自覚が足りない・やる気がない(4)めんどくさい。
	B	1 5	1 7	
	C	1 3	2	
	D	0	0	
授業態度 ・私語 ・話の聴き方 ・集中度	A	4	5	集中していない(6)、私語が目立つ(12)、話の聴き方が悪い。居眠り。関係ないことをしている。このごろ私語しなくなった。集中できている(5)、教科によって態度が違う。 原因：うるさくて話を聴く気になれない(3)、眠くなる。どうしても私語をしてしまう。やる気がなかった。集中しようとする意識が足りない。むずかしい問題になると集中力を欠いてしまう。
	B	1 2	1 9	
	C	1 3	1	
	D	0	0	
清掃・給食当番 ・さぼらないで 一生懸命やる	A	1 7	1 1	協力できている・できた・がんばった(6)、給食当番はいいが清掃は×。給食準備が遅い時がある。清掃で遊んでしまった。清掃に来ない人がいた。一部の人だけでできていない。(さぼらず)分担してやっているから。清掃で
	B	1 1	1 2	
	C	2	2	

協力・役割分担	D	0	0	特定の役割(ほうき)しかやっていない。清掃の反省会やらない。サボる人がいる。 原因：清掃はおっくう。意識が足りない。めんどうくさい(4)。班長の指示がない・徹底しない(2)
---------	---	---	---	---

(2) 班の中や学級で、自分たちで生活を向上させるための活動が行われていますか？
(係やリーダーの指導や呼びかけ・班員どうしによる指摘や注意・あるいは点検など)

< 行われている (7) ときどき(2) / 行われていない(16) >

(3) 「よくやっているなあ」思われるのは どの班の何の仕事？

() 班の(仕事は?)

どんなところから「よくやっている」と思いましたか？

3班のあいさつ(号令)・・・忘れずに(声をかけあって)毎日やっている。(7)

2班のプリント集配・・・・・・“(5)

5班の学級日誌の記録・給食のあいさつ(5)

全部の班・・・(2)

班活動や学級生活の課題は何だろうか？

1、班活動は？

(1) よい所は？

(2) 課題点は

(3) その原因は？

2、基本的な生活習慣の部分では？

(1) よい所は？

(2) 課題点は？

(3) その原因は？

氏名

1、今日の学級活動（話し合い）のテーマは何でしたか？

2、今日の活動（話し合い）にあなたはどのように参加しましたか？

次のそれぞれの項目に、印をつけてください。

< A = よく当てはまる B = だいたい当てはまる C = あまり当てはまらない D = 当てはまらない >

項 目	自己評価
1、今日の活動に進んで参加しようと思いましたが。	A B C D
2、今日の活動の目的や内容が分かりましたか。	A B C D
3、自分の意見をもつことができましたか。	A B C D
4、自分の意見を発表（班内または全体で）することができましたか。	A B C D
5、級友の意見をよく聴くことができましたか。	A B C D
6、級友の意見に対し、自分の考えをもてましたか。	A B C D
7、話し合いを進めるために協力できましたか。	A B C D
8、話し合いの内容がよく分かりましたか。	A B C D
9、話し合いの結果を今後の生活に生かせますか。	A B C D
10、あなた自身、今日の活動に対する参加態度の総合評価は	A B C D
11、今日の活動で誰（班）の意見がよいと思いましたが？また、その理由は？	
12 今日活動を通して、あなたは今後どんな形で学級や班の活動に協力したり、関わって いこうと考えましたか？	

学級活動ワークシート 2004・10・1（金）5校時

班
氏名

1、本日の話し合いのテーマ

2、班で話し合おう！

必ず一人一人発言して（班長は必ず班員一人一人に発言を求めること）いい方策を班でつくりあげよう。

（1）班で取り上げた課題は？

を解決する（向上させる）ための今後の取り組み。

（2）取り組み方

アンケート結果に見える原因をどうやって克服したらよいか（原因をつぶせれば、解決への近道なのだ！）を考えて取り組み方を工夫しよう。

そして、「これならきっと解決できる。」「必ず良くなる。」という内容で、できるだけ具体的に実行可能な解決方法や改善策を考えよう！

<考え方のヒント>

いつ（どの時間帯で？取り組みの期間）？

どこで（どんな場面で）？

何に（どんなことに）取り組む？

どんなふう（具体的なやり方）に取り組む？

だれが（役割は？指示を出すのは？他の人はどんな形で協力する？）？

周りの人たちにはどんな協力をしてもらったらいい？

取り組みの言平価方法は？（決めっぱなし、やりっぱなしは×、達成・実行できたかどうか？取り組みの進み具合は？どこまでできたか？成果が誰の目にもはっきり見えるようにするには？）

もし、実行できない人や協力できない人が出てきたらどうする？

この方法でバッチリ！

（「撲滅大作戦！」プロジェクト ！」 × 50%アップ！」
等々のネーミングをつけてみよう！（ねらいや目的がはっきりわかるものがいいね。）

(作戦名)

() 班

取り組み内容 (何に、だれが、いつ、どう取り組むか?)

取り組みの評価方法 (達成できたかどうか? どこまでできたか? 見えるようにするには?)